

富山高等専門学校 商船学科 教員公募

1. 職名及び人員 准教授，講師又は助教 1名
2. 所 属 商船学科
3. 専門分野 安全システム工学，制御工学に関する分野
4. 担当授業科目等 船舶安全学，航海計測論，実験実習，卒業研究，専攻科特別研究等
5. 応募資格 (1) 博士又は PhD の学位を有する方が望ましい
(2) 三級海技士（航海）以上を有する方が望ましい
(3) 実践的な高専の教育・研究に強い意欲を持ち，学級担任，学生指導，寮生指導，クラブ指導などにも理解と熱意を持って取り組める方
(4) 共同研究や公開講座など地域貢献に意欲のある方
(※別添「富山高等専門学校の教員が携わる職務の概略について」を参照)
6. 採用予定日 令和5年4月1日
7. 提出書類 (1) 教員選考個人調書（本校書式）
(写真貼付の上で電話番号及び電子メールアドレスを必ず記入すること。)
(2) 教育業績調書（本校書式）
(3) 研究業績調書（本校書式）
(4) 自己推薦書（本校書式）
(5) 本人について照会可能な方2名の所属・氏名・連絡先
(6) (海技免状を有する方のみ) 海技免状の写
8. 応募締切日 令和4年7月1日（金）必着
9. 選考方法 一次選考 書類審査
二次選考 面接及び模擬授業による審査
10. 応募書類提出先 JREC-IN Portal Web 応募により提出書類を1つのPDF にまとめてアップロードすること。
提出書類に関する問い合わせ先
富山高等専門学校総務課人事労務担当
〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地
TEL 076-493-5491（直通） FAX 076-492-3859
E-mail jinji@nc-toyama.ac.jp
11. 問い合わせ先 富山高等専門学校 商船学科長 笹谷 敬二
E-mail : jinji@nc-toyama.ac.jp
12. その他 本校ではダイバーシティ尊重の観点から，女性，外国籍，障害を有する方の応募を歓迎します。
応募者の個人情報は，富山高等専門学校の教員を採用するという目的のために利用するものであり，富山高等専門学校以外の第三者には提供又は公表しません。

富山高等専門学校の教員が携わる職務の概略について

高専教育は15歳からの5年間（商船学科は5年半）の一貫教育及び続く専攻科2年間のより専門的な教育で、高い実践力を備えた技術者、ビジネスパーソンの育成を旨としています。教育内容や学生の年齢層の広さから、教員は独創的・創造的な教育・研究活動の展開が可能です。高専教育に情熱を持って取り組んでいただくために、高専教員の職務・職責の内容の主なものを記します。

(1) 学業指導

○授業

本科における講義、実験実習、各種ゼミ、卒業研究などにあたっていただきます。さらに専攻科の講義や実験実習がこれに加わります。定期試験は年4回あり、成績不振学生に対する個別指導に加え、実験実習科目では、実験指導とレポート作成指導が重要です。そして教員相互に行う授業評価や年度末に行う学生の授業評価などを通して、教育方法の継続的改善に取り組むことが求められます。

○卒業研究および特別研究

専門学科における卒業研究は、高専教育の最重要科目の一つであり、担当教員には高い指導力が求められます。教員一人あたり2～4名の学生を指導します。加えて専攻科学生1～2名を担当し、特別研究の指導を行います。なお、特別研究を受け持つには教員業績審査があります。

(2) 校務分担

○学級担任

学級担任は、一学級40人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたる指導を行います。毎日の教室清掃指導、各種学校行事の指導、学生への個人面接や保護者との懇談などが重要な職務です。加えて校外実習、見学旅行の引率指導。さらに就職・進学の見学指導（キャリア教育・インターンシップを含む）について強い意欲を持って取り組んでいただきます。

○各種委員会・会議（*）

教務委員会、学生委員会、寮務委員会をはじめ各種委員会、さらに研究や国際交流に関する部署があり、それに所属することがあります。各主事やセンター長のもとに、それぞれの委員会メンバーが中心となって校務の運営にあたっています。また定期的に教員会議や学科会議等で校内の情報交換や学校運営に対する意見の集約を図っています。

○クラブ顧問（*）

クラブ顧問としての日常的なクラブ指導があります。運動系、文化系ともに各種大会・発表会への参加指導、運営協力、及び引率があります。実技指導力は必ずしも求められませんが、クラブ所属学生の安全管理につとめ、クラブ運営に関する積極的な指導・助言を行います。

○学寮の宿日直

高専には学生寮が設置されており、教育寮という位置づけから、教職員が主体的にその運営・指導に当たる必要があります。原則として全教員に学寮の宿直又は日直（日直は土・日・祝日のみ）が割り当てられます。200名近い男女寮生の指導は、本校教員の重要な教育業務の一つです。

(3) 研究・社会活動

○研究

高専の教員には、自分の専攻分野における研究業績も求められます。自らの学術的研究成果を積み上げることはもとより、研究に対する意欲的な姿勢と成果は、学校全体の教育活動の活性化を促し、地域社会への貢献にもつながるものです。全教員に科研費申請をお願いしています。

○社会貢献（*）

共同研究、受託研究、公開講座、出前講座など地域連携活動を展開しています。地域社会から様々な形で本校の学術的・教育的資源に期待が寄せられています。積極的に地域社会に対して貢献する姿勢が要求されます。本校への志望を促す意識喚起（広報）や、本校卒業生の進路開拓にもつながる重要な活動です。

（*）本校は、本郷キャンパスと射水キャンパスの2キャンパスを有しており、ワンカレッジ化を目標に両キャンパスの教員・学生は活発に交流しています。また、入試広報業務のために近隣中学校を訪問することや、クラブ顧問として近隣の競技場等で業務を行うことがあります。これらの活動の際には、自動車を運転して移動する場合があります。円滑な業務遂行のためにも普通自動車運転免許を保有されていることが望ましいです。なお、業務の際には本校の公用車を利用することが可能です。

（※本資料は、本校教員の職務等を理解していただくための参考資料です。）